



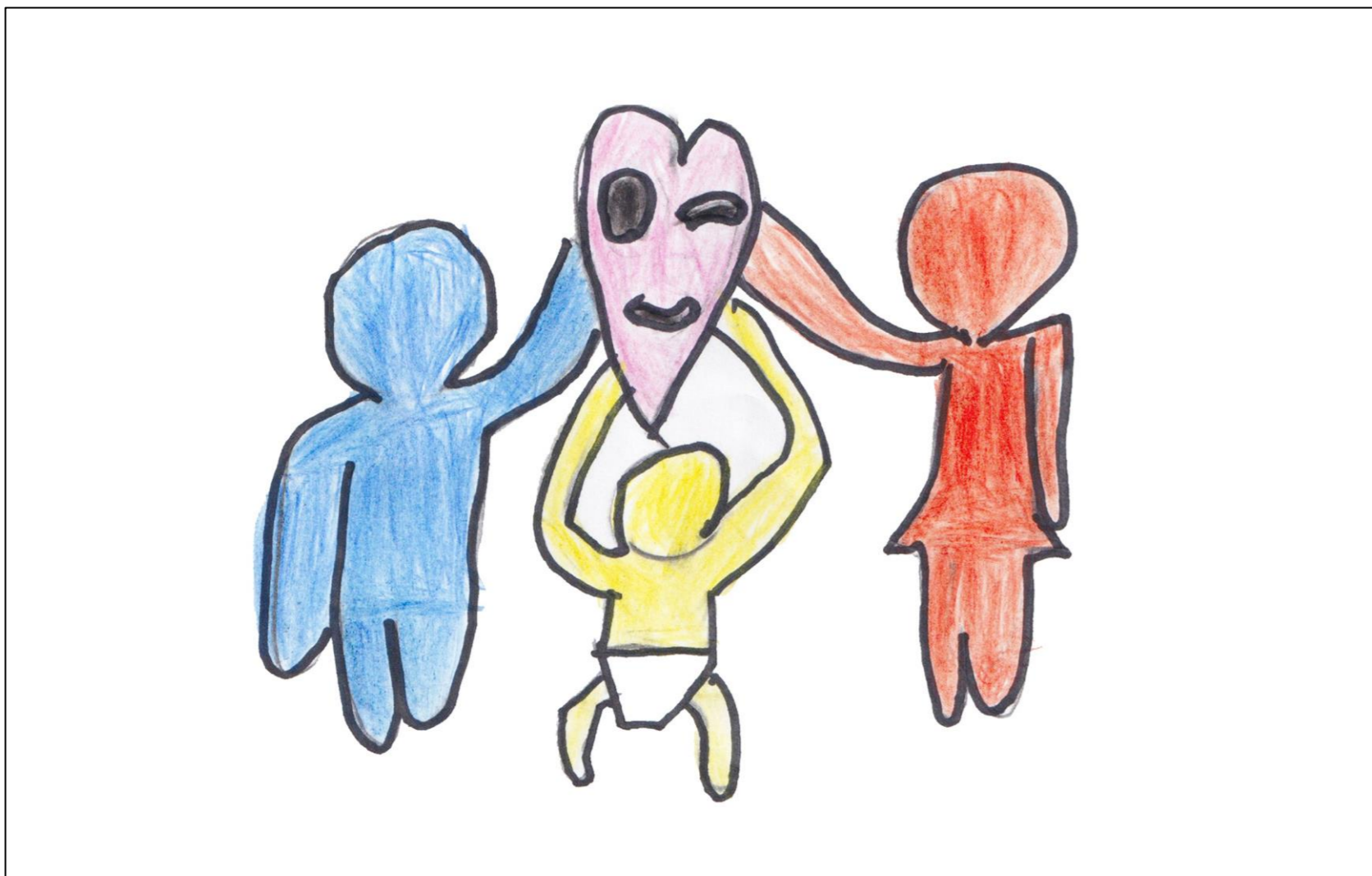
～青少年赤十字創設100周年記念～
「みんなで作ろう！優しさの作品」コンクール
【小学校 低学年の部(1～3年生)】 入賞作品

※応募数22校・33作品

最優秀賞

徳島市加茂名小学校
住友 正宗さん(2年)

「みんなの命を守ろう」のピクトグラム



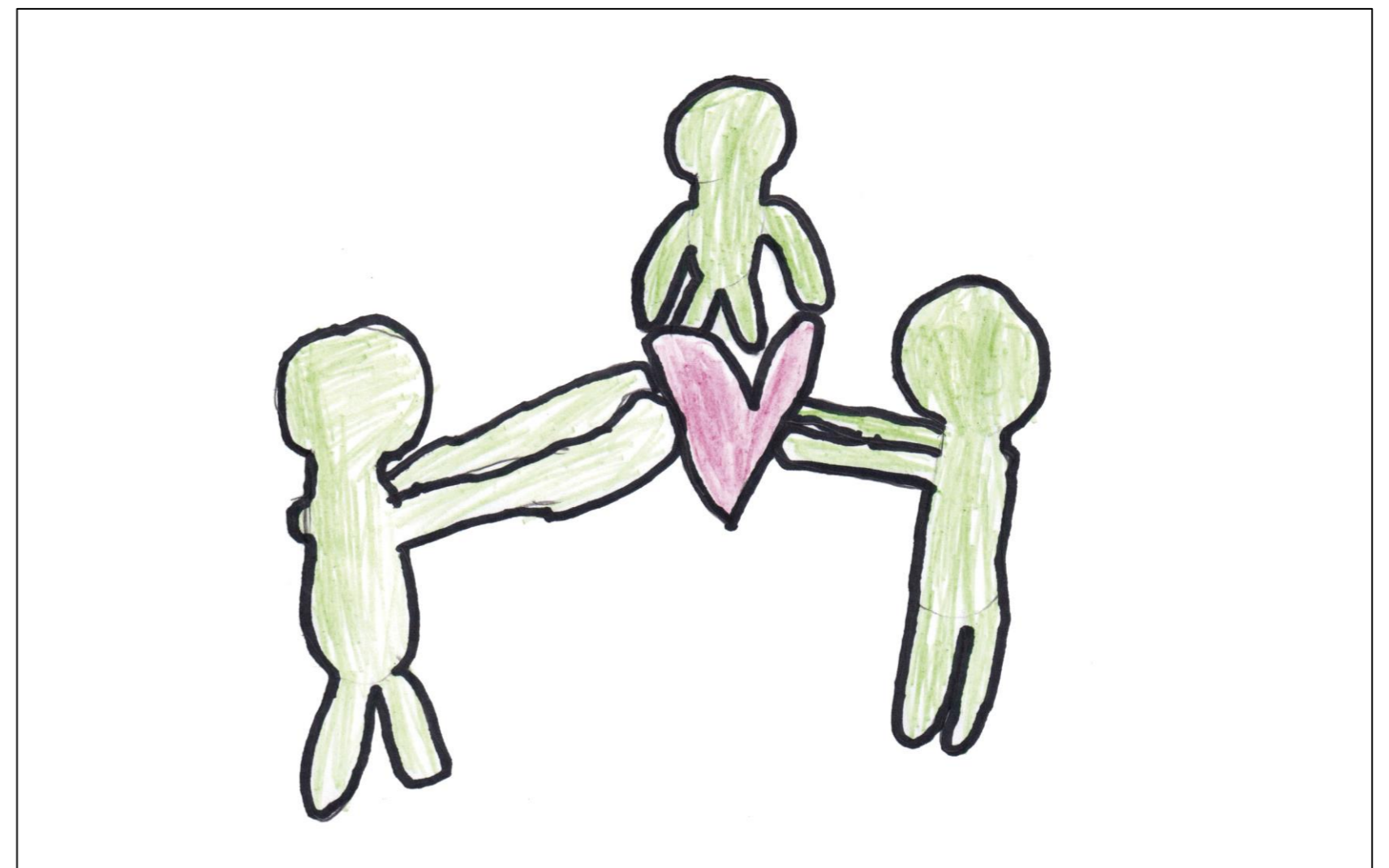
【作者のコメント】

ぼくのいえには、赤ちゃんがいます。ニュースで、赤ちゃんがぎゃくたいされて、しんでしまったことをしりました。ぼくは、赤ちゃんはかわいいのに、なんでだろうとおもいました。赤ちゃんや、みんなのいのちをたいせつにしないとイケないと思ってかきました。

優秀賞

石井町浦庄小学校
松長 想士さん(3年)

「ささえあい」のピクトグラム



【作者のコメント】

このピクトグラムを考えたきっかけは、命はまもられていることを表したかったからです。人は生まれてから死ぬまで一人ではなく、たくさんの人に助けられて生きています。どんなときもまわりの人のやさしさを忘れずにいたいと思う気持ちが大事だからです。

入選

鳴門市撫養小学校
村越 眺佳さん(3年)

「やさしさ」のピクトグラム



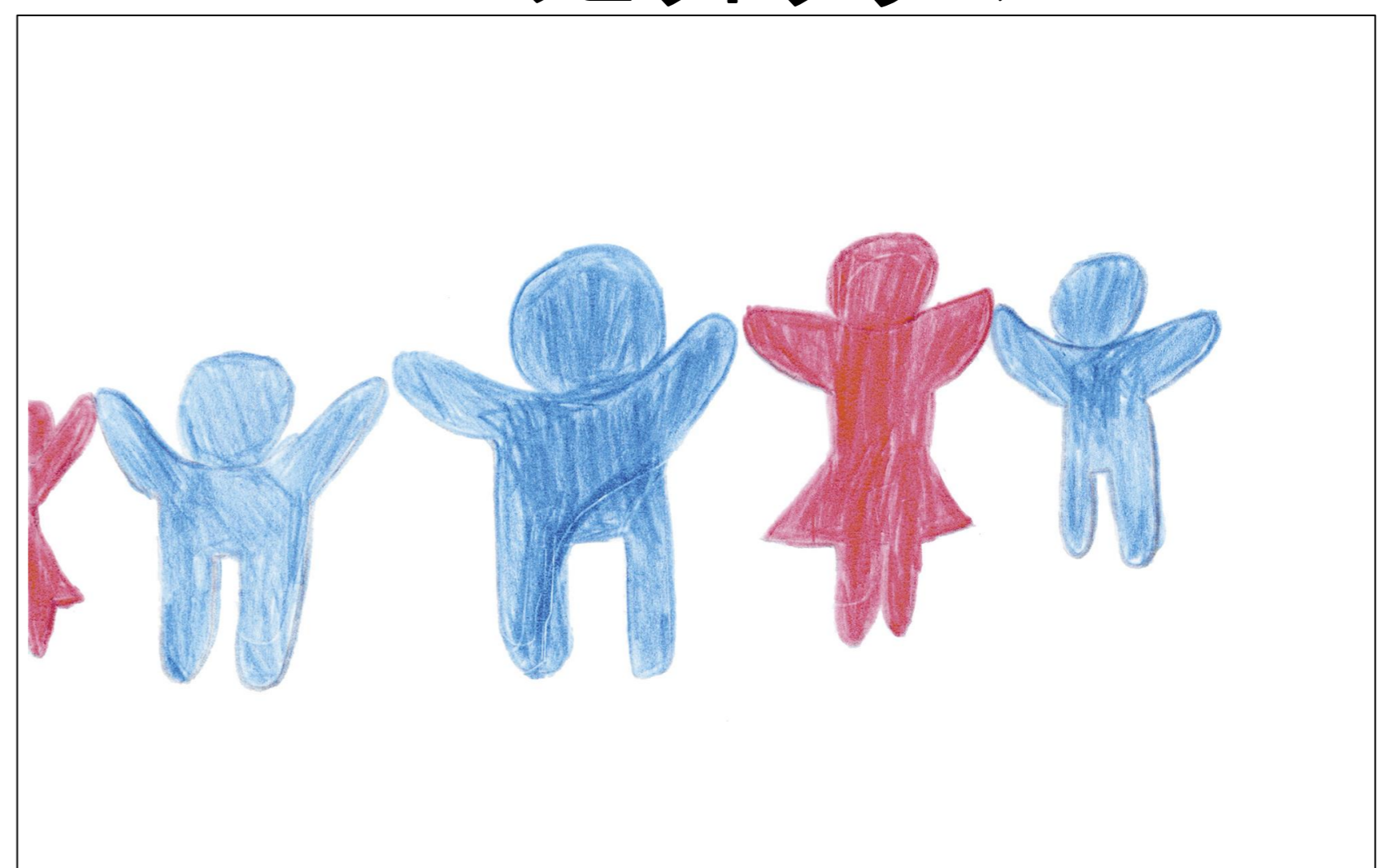
【作者のコメント】

わたしが、この作品にこめたねがいは、世界平和です。みんな一人一人が温かいハート(心)を持っています。その心を大切に思う気持ちがあれば、自分の事も人の事も大切にできると思います。そうすれば、人と人とのあそいも、国と国とのあそいもなくなり、世界平和につながるんだと思いました。

入選

北島町立北島南小学校
高田 もえさん(2年)

「みんなが手と手を取りあってたすけあう」のピクトグラム



【作者のコメント】

人がしあわせと、おもえるように、たすけあえることがとうぜんだったら、人と人のたすけがだれかをポカポカにできて、いつかたすけてもらった人に、じぶんからたすけあえたらいいなとおもいました。そしたらがんばった人からポカポカがうまれてくるのかなとおもいました。



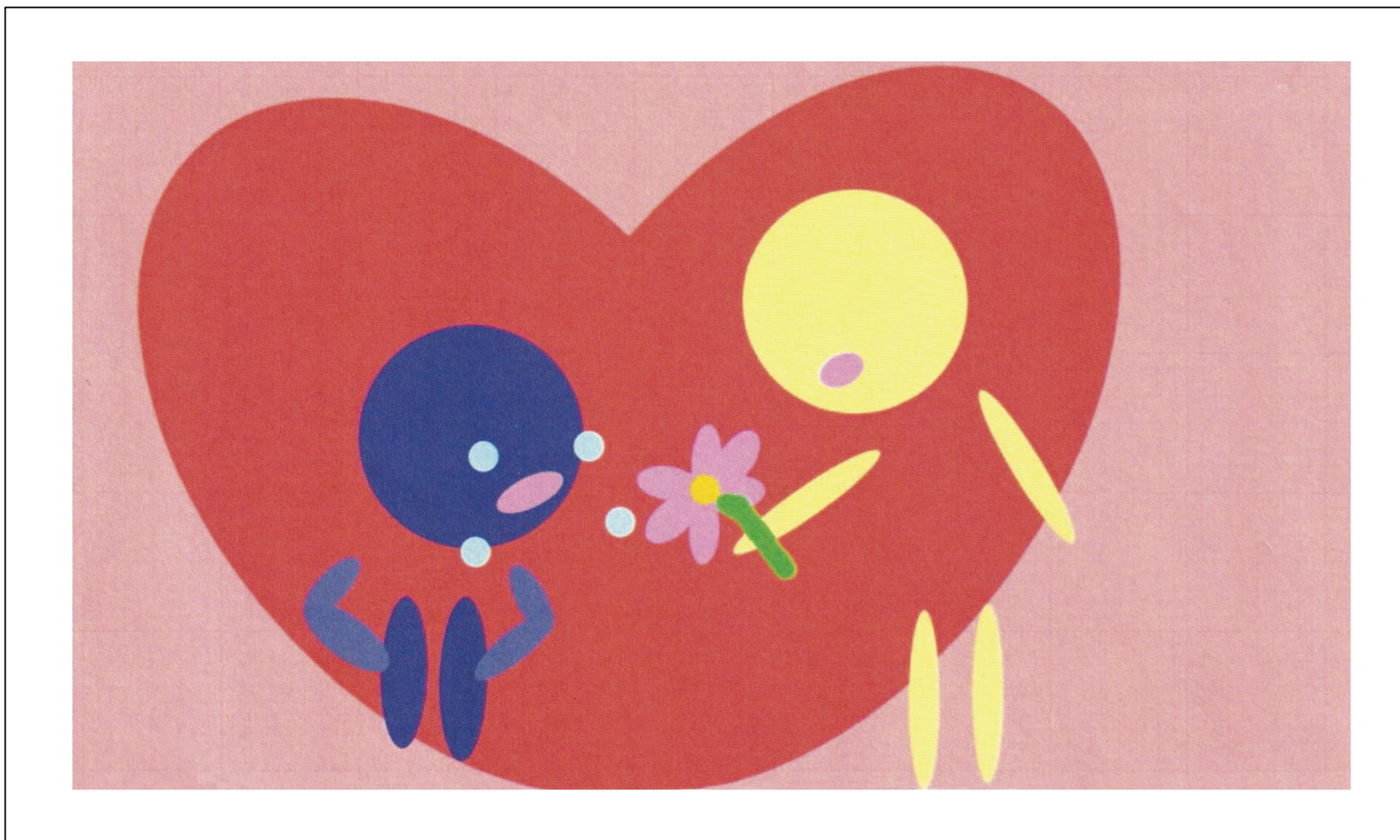
～青少年赤十字創設100周年記念～ 「みんなで作ろう！優しさの作品」コンクール 【小学校 高学年の部(4～6年生)】 入賞作品

※応募数23校・199作品

最優秀賞

阿南市立中野島小学校
柴田 あやめさん(6年)

「だいじょうぶ？」のピクトグラム



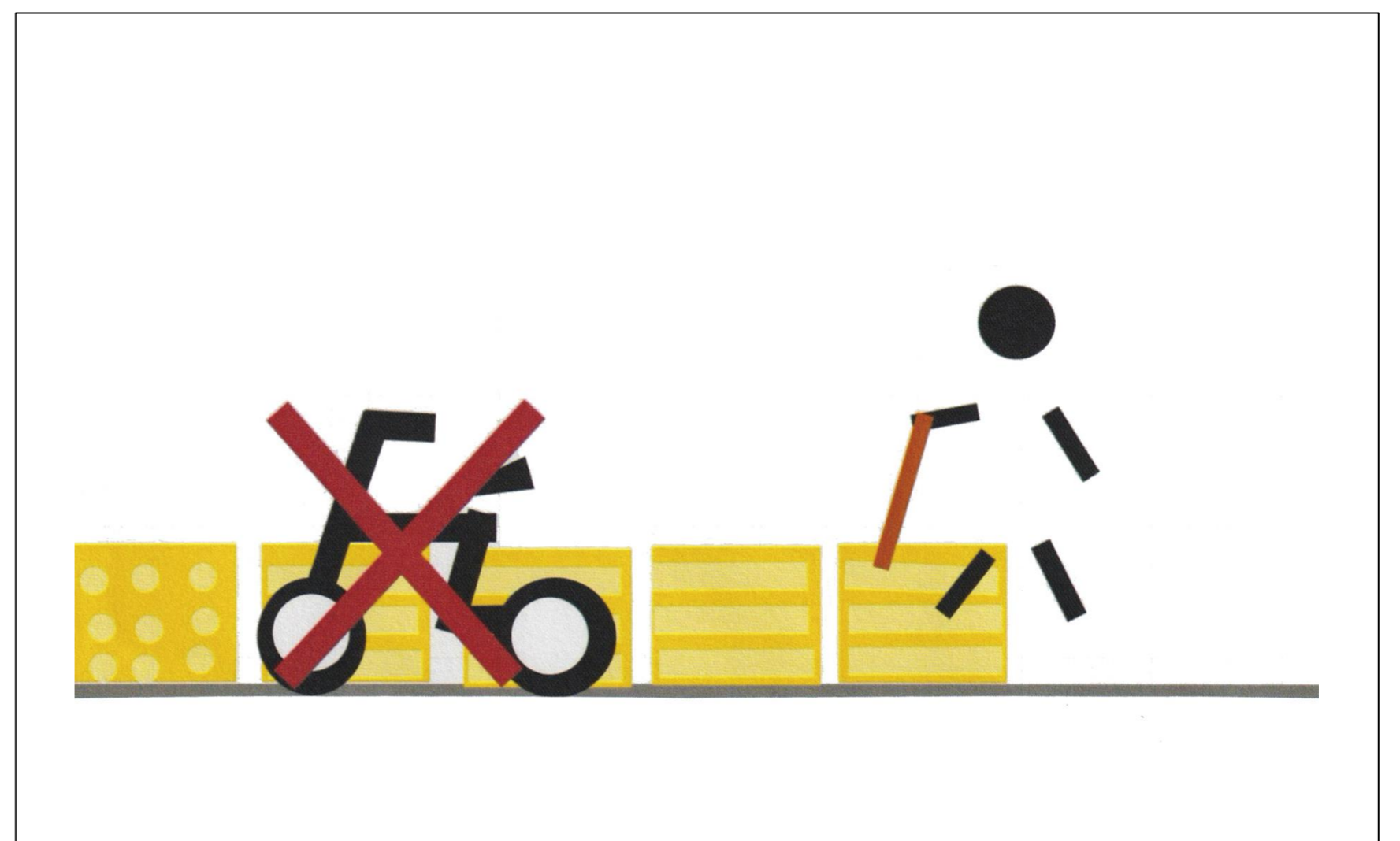
【作者のコメント】

私が、この作品を考えたきっかけは、いじめです。いじめは簡単に人を傷つける行動です。だから、いじめをなくしたいという思いからこの作品を考えました。いじめだけでなく、事故や災害で1人ぼっちになった人たちに、1人じゃないよということを伝えたいという思いもこの作品に込めました。この作品の思いがこれを見た人に伝わるといいです。

優秀賞

阿南市立中野島小学校
笠原 颯磨さん(6年)

「点字ブロック」のピクトグラム



【作者のコメント】

ぼくは、買い物に行ったときに点字ブロックが気になったので、調べてみました。点字ブロックは地域のさまざまな場所にあり、上に自転車を置いたり、座ったりしてはいけないという大切な決まりがあります。点字ブロックを必要としている人が、安心して町で暮らせるように、たくさんの人にこの大切さを伝えていきたいです。

入選

阿南市立見能林小学校
原田 七織さん(4年)

「やさしさのわ」のピクトグラム



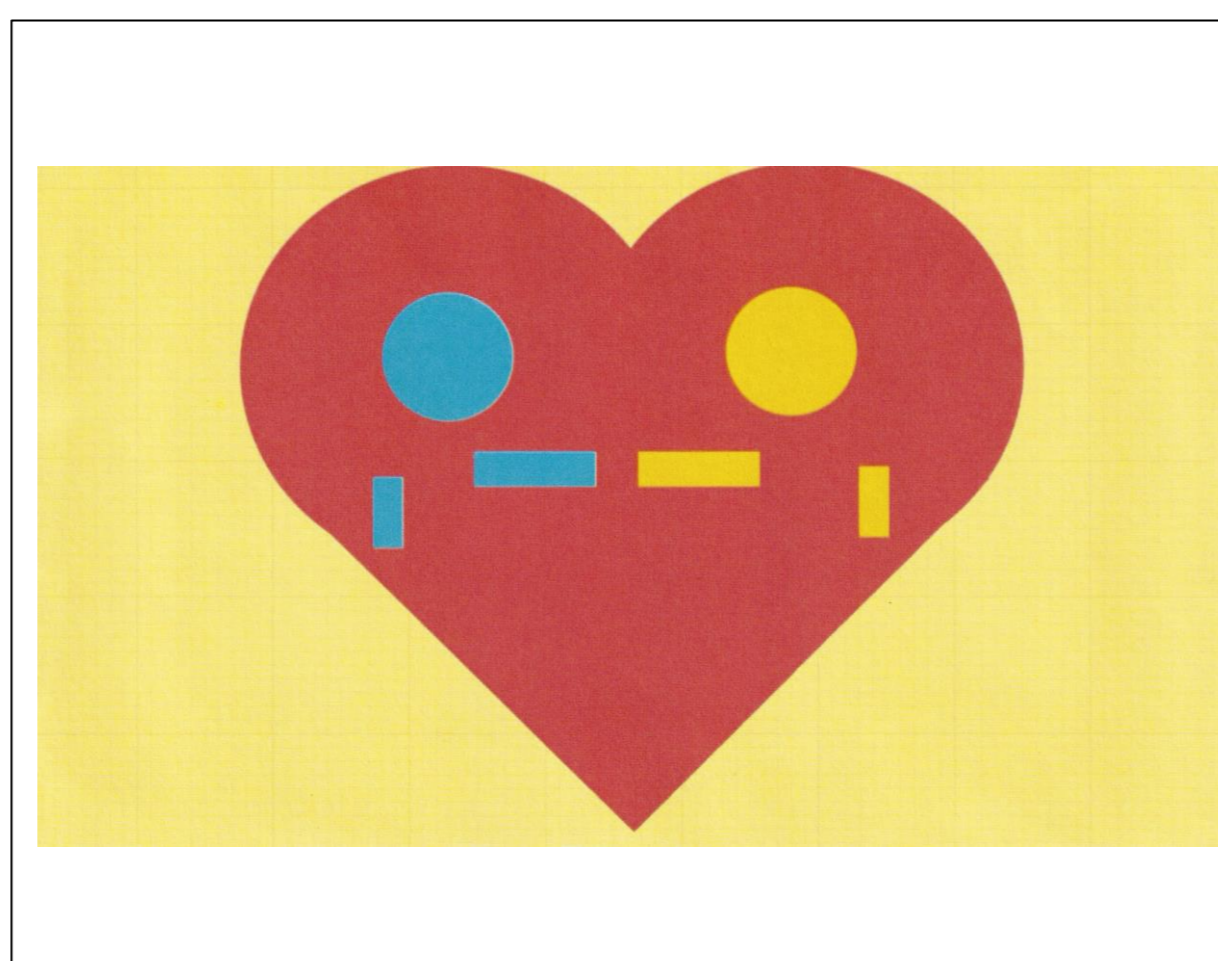
【作者のコメント】

いじめられている子にも、悲しいではなく、あたたかさをあげたいです。もし、いじめなどうけている子がいたら、やさしさがあるから、「おちついてね」という気持ちをこめています。少しでもやさしさがあふれるように、ハートの形をしたものがつながり、心のわができています。つながるともっとやさしくなるという気持ちをこめました。

入選

阿南市立中野島小学校
湯浅 絢香さん(6年)

「思いやり」のピクトグラム



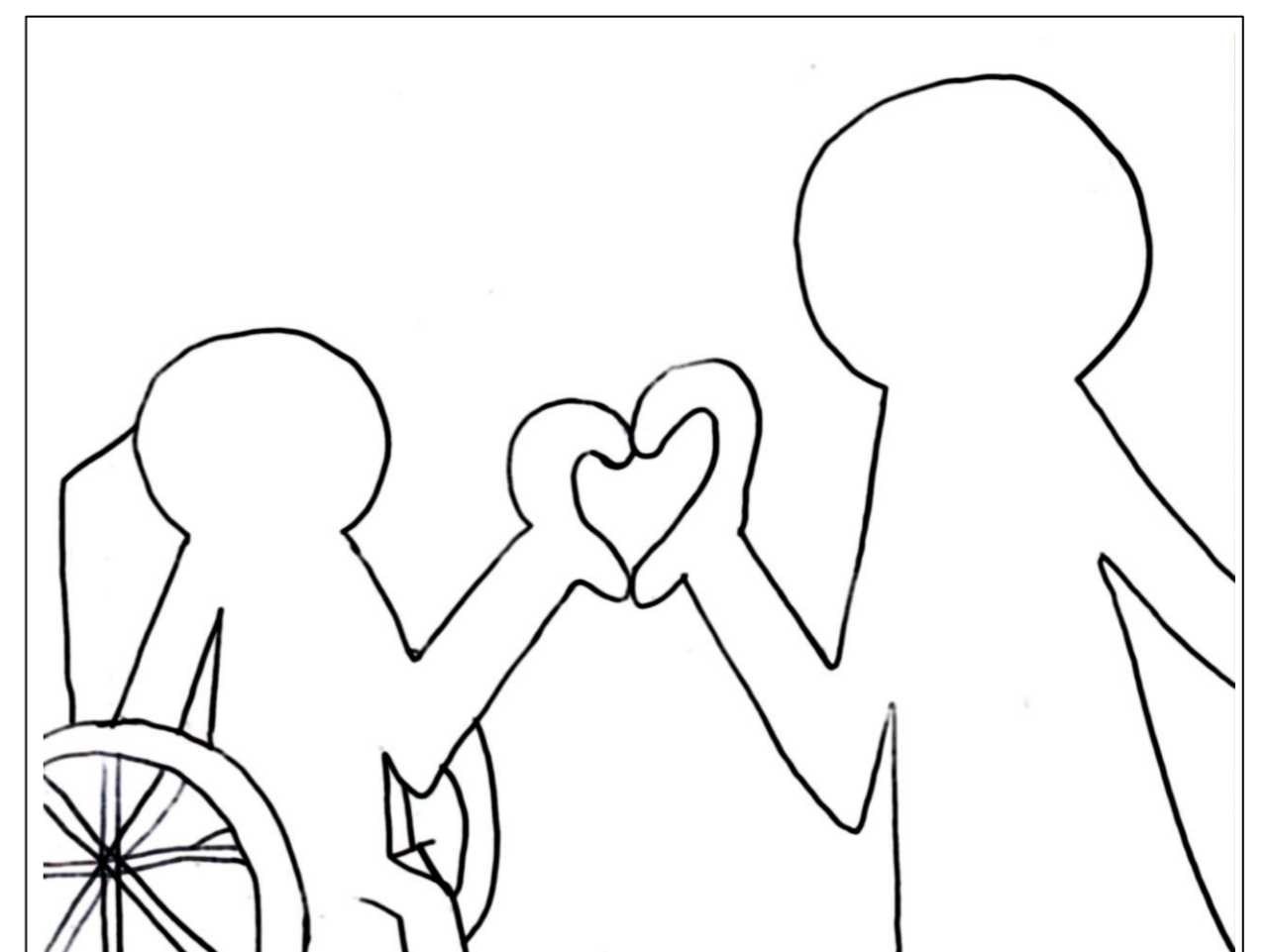
【作者のコメント】

1人でさみしそうにしている子を見て、「いっしょに遊ぼう」と声をかけているところをピクトグラムにしました。私も1人でいたら友達に「いっしょに遊ぼう」と声をかけてもらったことがあります。その時のうれしさは、今でも忘れられません。このピクトグラムでは、声をかけた子の手を、工夫しました。思いやりの心と行動を大切にしたいです。

入選

鳴門市撫養小学校
朝田 詩さん(6年)

「思いやり」のピクトグラム



【作者のコメント】

私は初めて会った人や、友達と力を合わせて協力して1つの物を作ったときにうれしい気持ちになったことがあります。このピクトグラムには、大きい人や小さい人、障がいのある人やない人など、それぞれちがう個性を持った人がいて、その個性を活かし、みんなで協力し、また、新たな個性を作り上げてお互いを大切にするという思いを込めました。



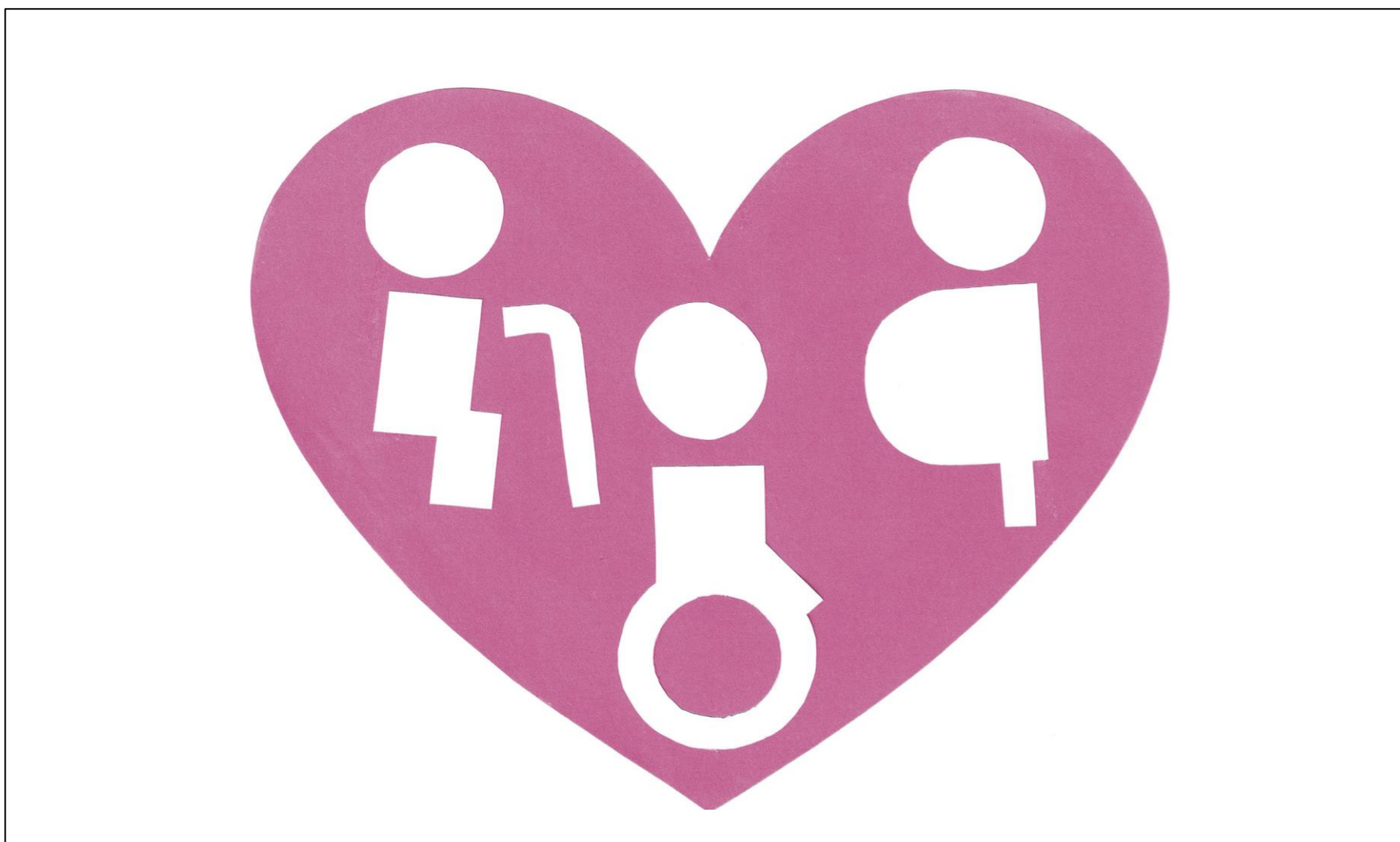
～青少年赤十字創設100周年記念～ 「みんなで作ろう！優しさの作品」コンクール 【中学校の部】入賞作品

※応募数19校・802作品

最優秀賞

吉野川市立鴨島第一中学校
池光 一輝さん(1年)

「みんなの思いやり」のピクトグラム



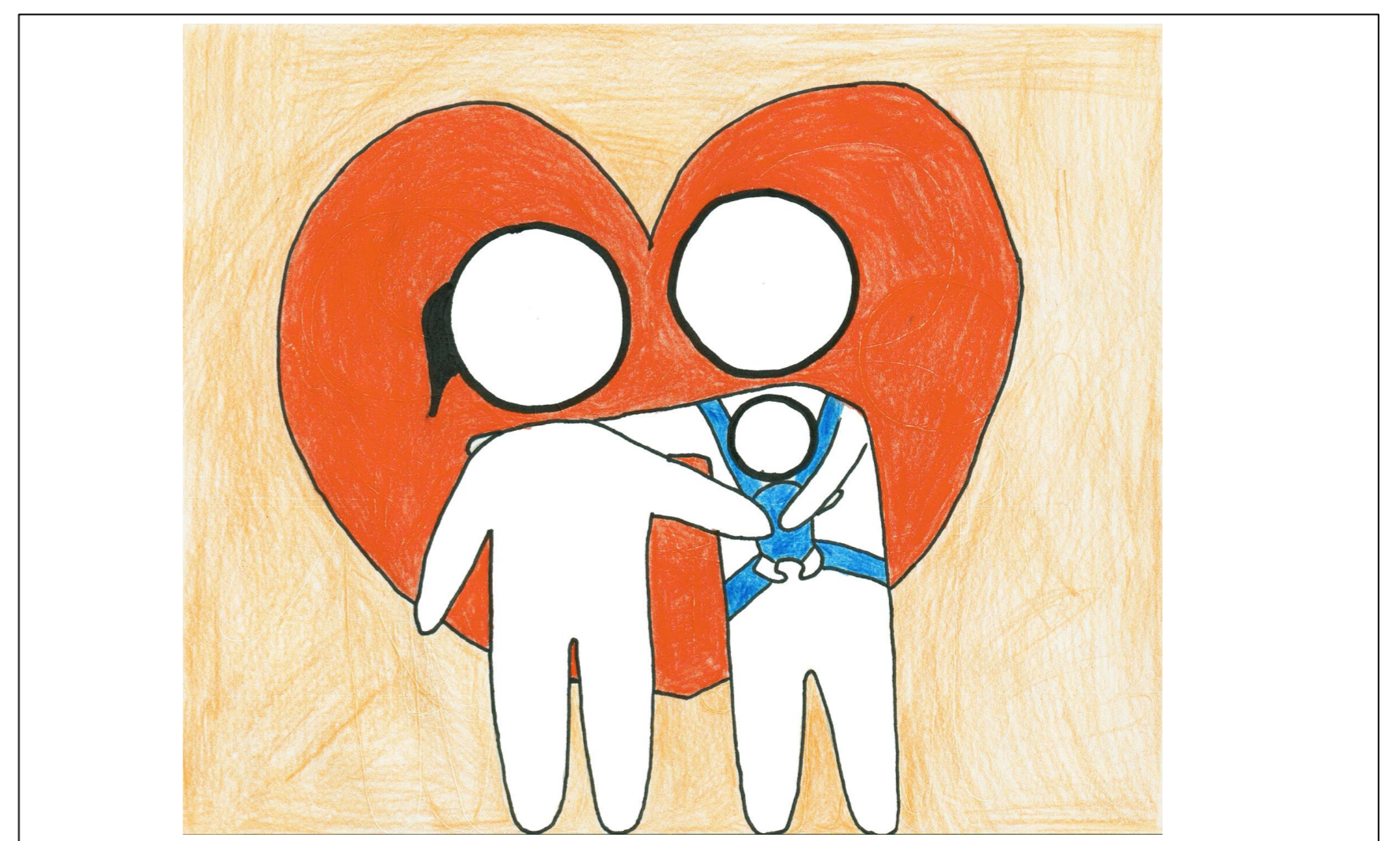
【作者のコメント】

この作品は、お年寄りや、車いすの人や、にんぷさんなど、いろいろな人にも、平等に大切にということで、このピクトグラムを作りました。お年寄り、車いすの人、にんぷさんなどのたくさんの人々をつつみこんでいる大きなハートは、みんなの思いやりの心をイメージしました。みんな幸せになってほしいです。

優秀賞

徳島市城西中学校
大寺 渚生さん(1年)

「子育て」のピクトグラム



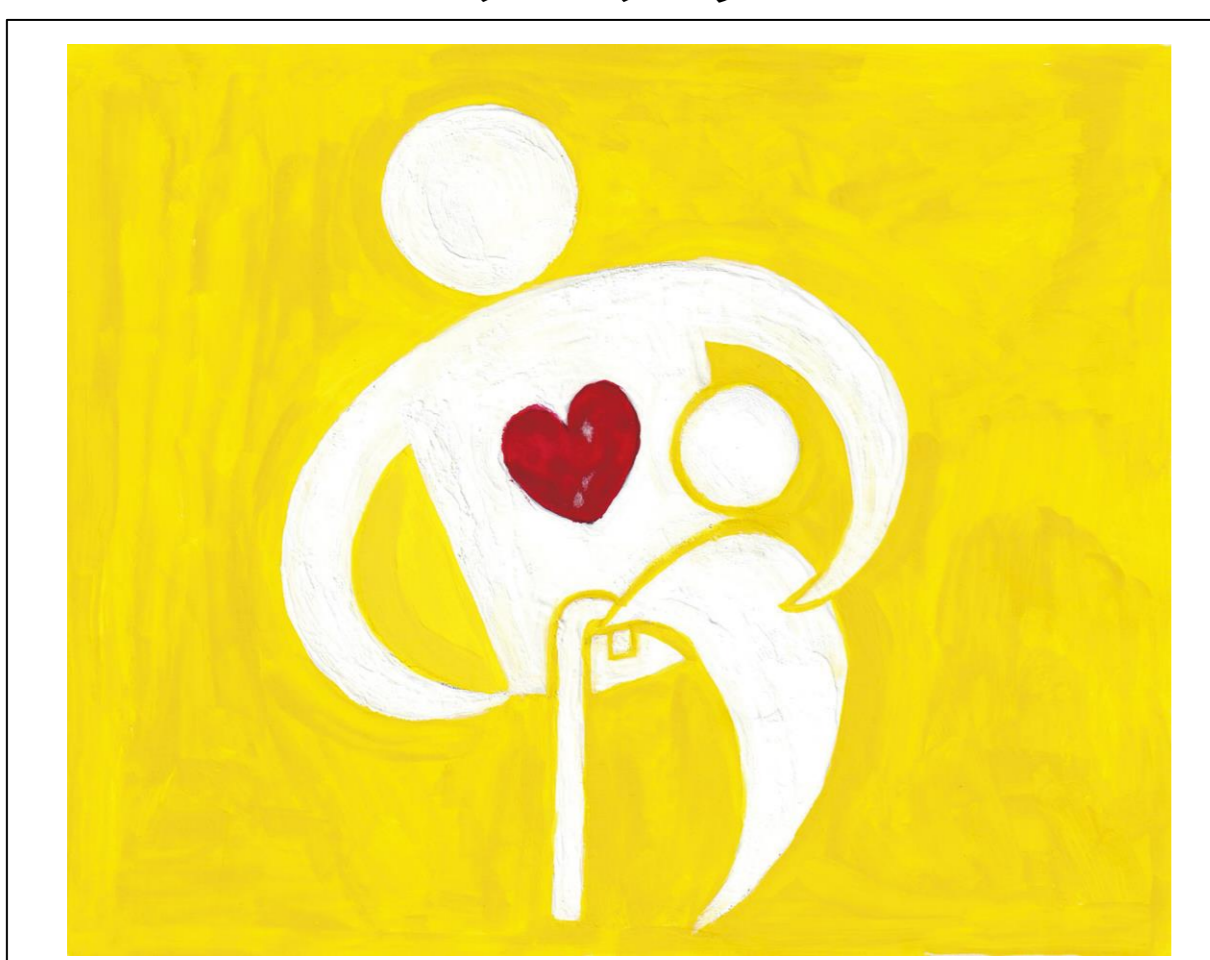
【作者のコメント】

このごろ、テレビで育休のことについてやっていたのを見ました。お母さんばかりが子育てをするのではなく、お父さんも育休をとって子育てをしようという内容をニュースで聞いたので、この絵を思いつきました。この絵は、女性にとっての男性の思いやりだと思います。

入選

徳島県立
城ノ内中等教育学校
岡田 奈々さん(2年)

「高齢者への思いやり」の ピクトグラム



【作者のコメント】

私には祖母がいますが、高齢のため歩くのに杖を必要としています。一人でも歩くことはできますが、寄り添ってあげることによって、安心して歩くことができるそうです。私たちの周りには、歩行が困難な高齢者がたくさんいます。常に思いやりの気持ちを持って接していくことが大切だと思います、このピクトグラムを制作しました。

入選

徳島市城西中学校
森 由依奈さん(1年)

「協力する世界」のピクトグラム



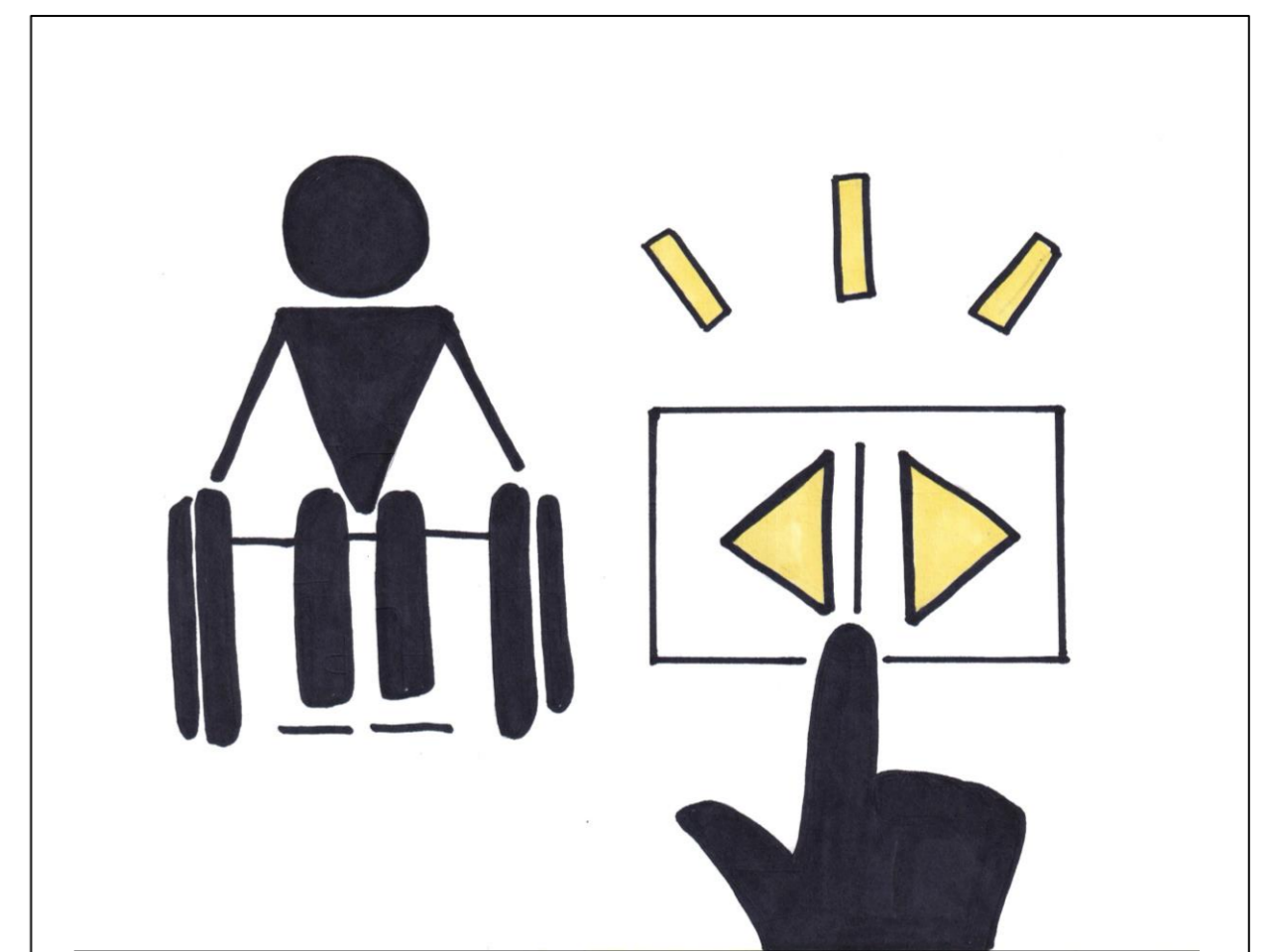
【作者のコメント】

きっかけは、コロナやウクライナへのロシアの侵攻により、世界全体が混乱している今、大切なのは協力し合う心だと思ったからです。この作品に込めた思いは、ハートの中にある握手という「協力」を世界全体で統一させるといことと、ハートは白のため、人の住む陸も白色にすることで、協力する心が広がってほしいという思いを込めました。

入選

徳島市城西中学校
尾形 萌々菜さん(1年)

「待つという優しさ」の ピクトグラム



【作者のコメント】

私がこの作品に込めた思いは、自分が先に行くのではなく、誰かの為に待ってほしいと思いこの作品を描きました。この作品では、エレベータに乗ってくる車いすの人に気づいてボタンを押して待っている様子です。この作品のような心遣いができる人が増えていくのを願うのと同時に、まずは私が行動に移していきたいと思っています。



～青少年赤十字創設100周年記念～ 「みんなで作ろう！優しさの作品」コンクール 【高等学校の部】入賞作品

※応募数8校・235作品

最優秀賞

徳島県立城南高等学校
貝島 光美さん(1年)

「思いやりの傘」のピクトグラム



【作者のコメント】

「思いやり」と聞いて頭に浮かんだのは母の学校のことでした。小学生だった私は「晴れているのにどうして傘をさすのか」不思議でした。なぜか尋ねてみると、生徒たちを雨風太陽から守るそうです。傘をさす人と車椅子の人が目を合わせて心を通わせている様子です。二人のあたたかい気持ちや信頼関係を表す為にピンクのハートを描きました。

優秀賞

徳島県立徳島科学技術高等学校
近藤 恋香さん(3年)

「臓器提供」のピクトグラム



【作者のコメント】

作品を考える上で、私は「思いやり」を表現したいと思いこのピクトグラムを考えました。臓器提供は自分の意思で人を助ける一つの手段であり、誰かの助けになりたいという思いやりがないとできる行為ではありません。なので、思いやりという優しさにぴったりなピクトグラムだと思います。このマークを見て1人でも考えるきっかけになりますように。

入選

徳島県立城南高等学校
末崎 博一さん(1年)

「共助」のピクトグラム



【作者のコメント】

城南高校の近くには、高齢者や障がい者の人達のための押しボタン信号があります。ですが正直そういった人たちにとって、一人で渡るのは難しかったり、こわかったりするかと思います。だからそばにいる人が、そういった人達といっしょに渡ってあげれば良いなと思い、この作品を作りました。また、愛情や優しさを表すためにピンク色を使いました。

入選

徳島県立徳島科学技術高等学校
福田 有里さん(2年)

「献血」のピクトグラム



【作者のコメント】

私は、誰かのために自分の血液を提供する献血に「やさしさ」や「思いやり」を感じたので、このピクトグラムにしました。この行動は優しくてあたたかいことだと思ったので、体の色をちょっと明るめの青にしました。このピクトグラムを見てくれた人が、「私も誰かのために献血してみようかな。」と思えるといいなと思いながら描きました。